

# 大浜学園だより

平成30年5月号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

## 地域の子ども、園・学校、親は、地域で!

新年度が始まりました。見守り隊の皆さんが見守るなか初々しい新1年生が登校してきました。

大浜学園としては、本年度も右の3つの方針のもと、地域の子どもたちの成長、地域の園や学校の活動、そして地域の親御さんたちの子育ての支援を本年度も全力で取り組んでいきたいと思っております。主な取り組みとしては、次の5つになります。

第1は、園や学校と地域を結ぶ活動です。右の写真の3名のコーディネーターが、園や学校からの依頼を受けて、地域の皆さんに様々な活動をボランティアでお願いするものです。これまでも花壇の世話、図書室の昼休みの貸出活動等、いろんな活動をお願いしてきました。

第2に皆さんもご存じの放課後子ども教室です。各小学校の体育館で子どもたちの遊びを地域の皆さんと見守ります。

第3は、夏休み子ども教室です。夏休みの平日の午前、読み聞かせや自主勉強、運動遊びを行います。本年度は、千浜小にも体育館ができましたので、各小学校の体育館を会場に行います。たくさんの子どもたちの参加をお待ちしています。

次は、土日に行う子ども教室です。これまでは、料理教室、トランポピクス、釣り教室、運動遊び等を行ってきました。

最後は、大浜学園夏季集会です。数年前まで各区ごとに行っていた地区懇談会を整理・統合したものです。保護者の皆さんはもちろん各地区の役員さんたちも御参加いただき、大浜学園の活動を御理解いただければ、幸いです。

放課後子ども教室の活動に毎回参加していただいている「おたいらの会」の皆さんの「遠州方言ふるさとすごろく」が完成しました。

大東・大須賀地域の年中(4歳児)~小学校1年生全員に、さらに、各園・学校の教室には、4人に1枚の割合で無償で配布されました。放課後子ども教室にもいただきましたので、子どもたちも楽しみながら、方言や地域の名所・旧跡、偉人を学ぶことができると思います。

本当にありがとうございました。



### 大浜学園の方針

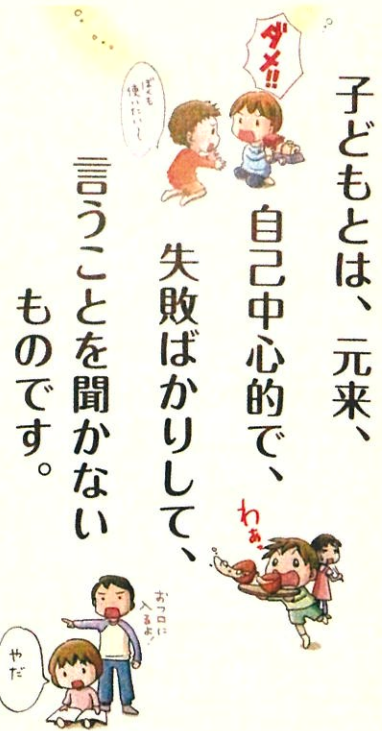
- ◆子どもたちの成長を支援します。
- ◆保護者の子育てを応援します。
- ◆先生方の負担を軽減します。



赤堀敬子  
コーディネーター

赤堀博  
コーディネーター

山崎昇吉郎  
コーディネーター



言うことを聞かない  
ものです。

失敗ばかりして、

自己中心的で、

子どもとは、元来、



# ルールを守るものは、ルールに守られる

文部科学省：家庭教育手帳より

## ルールって 誰のためにあるのだろう

子どもたちは、家庭でのルールや約束を守ったり破ったりしながら、人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。

家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、寝る時間、きちんとした姿勢などの生活上のルールもあれば、他人に迷惑をかけない、うそをつかないなどといった道徳上のルールもあります。

しつけに一貫性をもたせ、しっかりと身につけさせるためにも夫婦がよく相談してはつきりしたルールをつくり、子どもとともに親もそれを守りましょう。また、子どもの意見を聞いて一緒にルールをつくるという姿勢も大切です。



## 子どもの言うことを何でも聞くことが、 親のやさしさとは限らない

安易にモノを買い与え過ぎると、子どもは欲しいモノを手に入れるために努力したり、我慢したり、工夫したりすることができなくなります。そして、やたらとモノを欲しがり、自分の気持ちを抑えられなくなってしまいます。

ブランド品や携帯電話など、友達も持っているからなどといった理由で安易に買い与えないようにしましょう。欲しいと言ったら、なぜそれが必要なのか親子でよく話し合ってください。

子どものためを思うなら、お金より、心や愛情を使い、親子の関係を深めましょう。

## 情報モラルについて 家庭で話し合しましょう

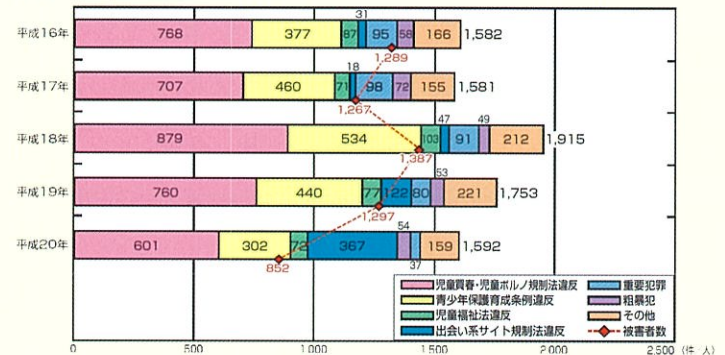
ウェブやメールなどのインターネットによるコミュニケーションでは、顔の見えない相手とのやり取りになるため、ちょっとしたことが原因でトラブルに発展してしまうことがあります。また、最近では、個人が特定されるような書き込みで誹謗(ひぼう)中傷を受けたり、悪口が書かれたメールが送られたりする「ネットいじめ」などの例もあります。顔の見えない者同士のやり取りに

は、危険がともなうことがあったり、そのつもりはなくても相手を傷つけてしまうおそれがあることなど、日頃から子どもに教えることが大切です。

- ◆ 食事中や家族が一緒に居るときは使わない
- ◆ 自宅内では居間で使う
- ◆ 学校への持込については学校のルールに従う
- ◆ 他人を傷つけるような使い方をしない
- ◆ 知らないところからきたメールは絶対に返信しない
- ◆ 知らない人に(名前、住所、電話番号、メールアドレスなどの)自分のことは教えない
- ◆ ルール違反や携帯電話の使用によって生活に支障が生じている場合には携帯電話の利用を停止する

## 「出会い系サイト」に関する事件の検挙状況

平成20年の被害者852人のうち、18歳未満の児童が724人(85.0%)であり、このうち携帯電話を使用した被害児童は714人(98.6%)。



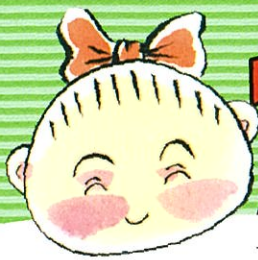
## 家事を手伝わせたなら、 子どもがしっかりしてきた

子どもたちの自己中心的な言動や自立の遅れの背景には、自己責任の考え方が身につけていないことがあります。とかく親は子どもを甘やかしがちで「自分のことは自分です」などのしつけがされないことが多いようです。

例えば、年齢に応じておこづかいの額やお手伝いなどの家庭内のルールを決め、子どもの成長に応じて責任と自立を促していくことが大事でしょう。「自分の欲しいものを自分のおこづかいで買う」経験は、子どもたちにとってかけがえのないものです。

また、お手伝いは生きていく上で最低限必要な家事を学ぶ第一歩と言えるでしょう。買い物に行けるようになったり、家の中の整理整頓などができるようになることで、自信にもつながります。





# 大浜学園だより

## 平成30年7月号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

# 夏休みは、大浜学園の夏休み子ども教室

夏休みが近づきました。子どもたちにとっては楽しい夏休みも、保護者の方にとっては、少々悩ましい夏休みでもあります。

その理由は、夏休みの学習がきちんとできるか、家の中でテレビを見たり、ゲームをしたりして運動不足になってしまわないかということです。そんな悩みを少しでも解決しようと考えたのが『夏休み子ども教室』です。

9時15分から11時45分までの2時間30分、大浜学園で子どもたちをお預かりします。

最初の30分間は、読み聞かせを大東図書館の方やボランティアの方がしてくださいます。次の30分間は、自主学習で夏休みの宿題等をします。その後は、体育館に移動して1時間30分運動遊びです。しーすぼの指導員の方やスポーツ推進委員の皆さんが楽しく充実した活動ができるよう指導していただきます。

本年度は、千浜小学校にも新しい体育館ができたので、会場を表のように大坂小学校と千浜小学校を中心に行うようにしました。これまで参加しにくかった千浜小学校の子どもたちもたくさん参加してくれることと思います。

千浜小の子も、大坂小の子も、どの会場にも参加することができます。都合の良い日を選んで参加してください。

大浜学園「夏休み子ども教室」

月	火	水	木	金	土	日
30	31	1	2	3	4	5
千浜小学校	大坂小学校	大坂小学校	千浜小学校	大坂小学校		
6	7	8	9	10	11	12
千浜小学校	大坂小学校	大坂小学校	千浜小学校	大坂小学校		
13	14	15	16	17		
しーすぼ	しーすぼ	大坂小学校	千浜小学校	大坂小学校		

千浜小学校 大坂小学校 しーすぼ



読み聞かせ「今日は、紙芝居。楽しいな！」



自主学習「夏休みの宿題をします」



運動遊び「講師の先生がいろんな運動を指導してくれます」

## 放課後子ども教室

放課後子ども教室が、千浜小と大坂小で、たくさん子どもたちが参加して、毎月1回の割合で行われています。

本年度は、いろんな遊び道具やボールを用意して子どもたちが自分の好みに合った遊びを自由に楽しむようにしました。ボランティアの皆さんのお蔭で毎回楽しく過ごしています。

## 家庭科縫い物ボランティア

大坂小学校5年生家庭科の時間に、たくさんのボランティアの皆さんが参加し、子どもたちの縫い物学習の指導をしてくれています。期間は、6月から7月の中旬まで、毎週1回、4時間程度の指導をしてくれています。子どもたちの中には、針を持つのも初めてという子も多く、子どもたちはもちろん指導の先生も本当に助かると大喜びです。



おたのみの会の皆さんと方言カルタを楽しむ

大坂小/コマ回し

大坂小/お絵描きが大人気

千浜小/綱引き



# 遊びが子どもを大きくする

文部科学省：家庭教育手帳より

遊びは子どもの心の成長にとっても大切です。小さいころからの遊びを通して、子どもは感覚を働かせ、運動をし、ものをつくり、想像します。しかし、遊びの機会が減るとともに、外で駆けまわるといった遊びから、家の中でのひとり遊びが目立つようになりました。

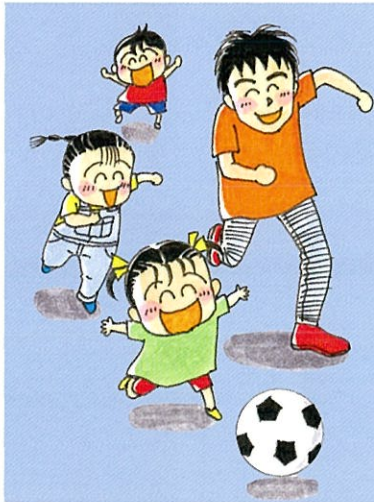
また、親自身も、「小学校に入ったら勉強が第一、遊びは終わり」というような誤った意識への切り替えをしてはいないでしょうか。子どもにとって遊びがいかに大切かを認識して、ゆつたりのびのびと遊ばせましょう。

## 年上・年下の友達と遊ぶことは、とても大切なことだ。

地域の活動など年の違う集団に参加させる。

年の違う集団の中で、子どもたちは人間関係についてたくさんを学びます。年少の子はルールを守ることや我慢することの大切さなどを身につけ、年長の子は思いやりの心や集団をリードしたり役割を果たしたりする責任感を養っていきます。

身近な地域のボランティア・スポーツ・文化活動・青少年団体の活動などは、それぞれ年の違う集団の中で子どもたちが切磋琢磨する貴重な機会を提供しています。親はその大切さを見直し、子どもたちを積極的に参加させましょう。



## 放課後や休日に子どもたちが多様な活動ができる居場所をつくらう

子どもの健やかな成長には、大人の力を結集して地域で子どもたちをはぐくむことが大切です。そのためには、まず、親が「自分の子どもは自らの責任で健全に育てる！」という決意をもつことが必要です。そして、子どもたちが安全に、スポーツや文化活動などの多彩な活動ができる居場所をついていく必要があります。

親自身も地域の大人として、地域ぐるみで子どもを育てていく姿勢をもちましょう。そして、放課後や休日に多彩な活動ができる場づくりをすすめ、子どもたちとともにいろいろな活動に参加しましょう。

## 人生で大切なことは、自然の中で学んだ。

テレビやテレビゲームなど屋内の遊びが増え、自然の中で遊ぶことが少なくなっています。野外で遊ぶことをすすめて実際に自然の中に連れだしたりして、動植物や自然とふれあう楽しさに気づかせましょう。地域の自然に親しむ活動に家族ぐるみで参加したり、時には親から離して子ども一人で参加させたりしましょう。

自然の中で遊ぶことで、驚きや感動を体験し豊かな感性をはぐくむとともに、自然や環境を大事にする心や忍耐することの大切さなどを学びます。



## 道徳観・正義感が高いのは

文部科学省の調査によると、道徳観・正義感の高さと次の3つのことには、大きな関係があるわかりました。

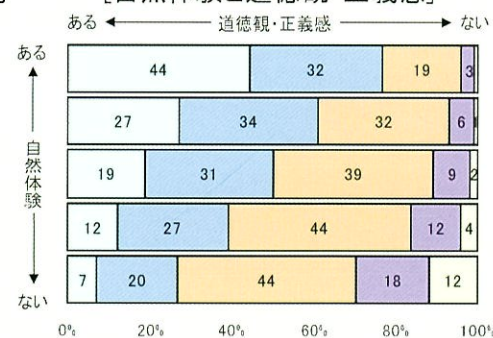
- ・生活体験が豊富なこと
- ・お手伝いをよくすること
- ・自然体験が豊富なこと

大浜学園では、放課後子ども教室をはじめできるだけ多くの自然体験や生活体験が経験できる機会を増やすように心がけています。

大浜学園の活動だけでなく、市や教育委員会、まちづくり協議会が計画する芋堀体験や、三世代交流会、さらに地区のお祭などに積極的に参加させ、道徳観や正義感を高めるようにしましょう。

また、家庭でもお手伝いをする機会を増やしてください。

[自然体験と道徳観・正義感]



放課後子ども教室／千浜小



放課後子ども教室／大坂小

# 大浜学園だより

平成30年9月号

大浜中学校区子ども育成支援協議会（大浜学園）の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先：oohamagakuen@gmail.com

## 夏休み子ども教室、大盛況！

本年度も夏休み子ども教室が大盛況のうちに無事終わることができました。料理教室も含めてのべ16日間で376人の子どもたちが参加してくれました。

写真のように、朝9時15分からボランティアの方や大東図書館の方の読み聞かせをしていただき、その後30間の自主学习を行いました。涼しい部屋で、夏休みの宿題も順調に進めることができました。この後、大坂小と千浜小の体育館をお借りして運動遊びを1時間30分、スポーツ推進委員の方、し～すばの指導員の方、ダンスの講師の方などの指導の下、様々な運動遊びをしました。本当に充実した夏休みになりました。



30分間の自主学习 静かに、真剣に取り組みました

読み聞かせだけでなく、紙芝居などをしてくれました



90分間の運動遊びで、汗びっしょり！



### 「疲れた」「疲れた」と言う子どもが増えている

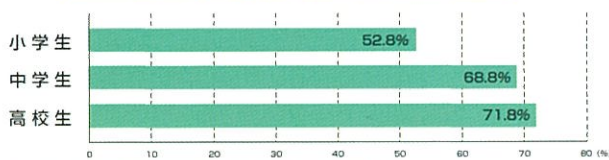
文部科学省：家庭教育手帳より

今の子どもたちは小さいころから時間に追われ、遊ぶ時間も削られています。遊ぶゆとりのない子どもの中には、「疲れやすい」「何でもないのにイライラする」といったストレスを訴える子がかなりいます。

子どもは、ゆとりのある自由な時間を与えられることで、初めて心から遊びを楽しんだり創意工夫したりできるし、個性や創造性を伸ばせるのです。

親は、勇気をもって子どもたちに時間とゆとりを与えましょう。

「疲れやすい」と回答した子どもの割合



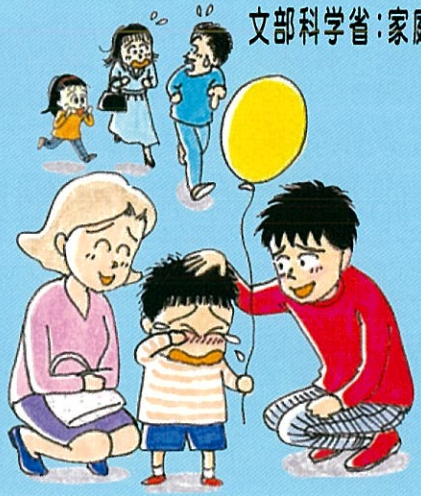
(注) 小学生・中学生・高校生の生活時間の量縮と学習に関する調査

楽しい運動遊びばかり



# 愛は、家庭で教わらなかつたら よそで学ぶのはムズカシイ。

文部科学省：家庭教育手帳より



# 親が子に期待するのと同じくらい、子は親に期待している

親が子を思いやるのは当たり前と思われていますが、どれだけの親が実際に子どもを思いやっているでしょう。  
思いやりとは、子どものことをよく知ることです。よく耳を傾け、子どもの中の世界がどんなものなのかを理解しようとし、たとえ自分の思う通りでなくてもその子の世界を受け入れることです。

子どもの存在に感謝し、尊敬を払い、愛情を深めていくことによって、親子の関係は進歩していきます。思いやりの心をもって接すれば、子どもが親に話をするのが安心で楽しくなり、いじめなどの悩みも自然に打ち明けられるようになるはずですよ。



子どもに命の大切さを実感させる

# ピンチのときこそ、家族の絆が試される

子どもの成長につれ、子どもの生活する世界は家族を越えてますます広がり、人間関係においてもさまざまな経験をすることになります。順調なことばかりでなく、いろいろな悩みにぶつかることもあるでしょう。

そうしたときに家族のやさしさや思いやりがあると、それが励ましになり、子どもにとっては勇気をもって、問題を解決する力にもなるでしょう。そして、さらに、人々と思いやりをもって接する心をはぐくみ、人との友好的な関係を築く力をはぐくむことにもつながるでしょう。



まず、家族で思いやる

# 子どもは親の姿を見て学んでいく

親に感謝し、親を思いやる心は、広く他人を思いやる心の基となる大切なものです。まず親が自らの親である祖父母を大切にする姿を見せることを心がけましょう。大人たちは、自らの親への接し方や、思いやりのある社会のために何が必要かについて、子ども自身から問われているのだということを考えましょう



親が率先して祖父母を大切にする

# 夏休み料理教室

8月4日(土)に大東保健センターで、夏休み料理教室が行われました。参加してくれたのは、写真の24名。食材等は、食推協の皆さんが準備してくださいました。食推協の皆さんの指導の下、手際よく料理を作りました。

食事が出来上がったなら試食タイム。自分の作った料理なら苦手な食材でも美味しく食べることができました。



# 大浜学園だより

平成30年12月号

大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

## 子ども教室、地域の皆さんに見守られて

月1回の割で、それぞれの小学校で「放課後子ども教室」が、地域の皆さんの支援を受けて行われています。写真(千浜小)を見ていただければわかるように、地域の皆さんの温かい眼差しに見守られながら、楽しそうに活動をしています。

オセロ、スポーツスタッキング、けんだま、お手玉、プラレール、デスク輸入れ、輪投げ、的当て、お絵描き、ストラックアウトなど、自分の好きなことを思い思いに行います。一方、体を動かすことが好きな子どもたちは、体育館の半面を使ってボール遊びを思いっきり楽しんでいます。

なお、次号では、大坂小の放課後子ども教室の様子を紹介します。



# 内外教育

## ラウンジ 部活動

○：顧問教師の負担を軽減するために、大阪市は来年度から一部の中学校で運動部の指導を民間に委託し、その結果を検証して拡大の是非を検討する、と報じられた。この施策には賛否両論があるだろうが、顧問制度が曲がり角にあることは否定できない。

○：強豪校など特別なケースを除けば、運動部の顧問は監督であり部長でありコーチである。交通機関の手配などマネージャー役も求められる。多くの競技では公式試合の審判も求められる。それでも顧問には免許や資格などの要件がない。無論、学校に全ての部の専門家がそろえることは奇跡に等しい。だから未経験の部に配置される教師も少なくない。笑い話のようだが、顧問の初仕事はルールや練習法の解説書の注文になったりする。

○：厳格な教職免許法からすれば、奇異な制度である。それでも運用できたのは、部活動は生徒が自主的に行うもので教師の役割は副次的だ、という前提があったからである。

○：ところが今では、部活動も顧問が主導するものになった。例えば、事故が起こった時に不在であれば、他の重要な職務に従事していた場合でも非難される。そのために部活の指導が優先し、他の業務は後回しになる。終

業は遅くなり、公式戦前などは休日もない。

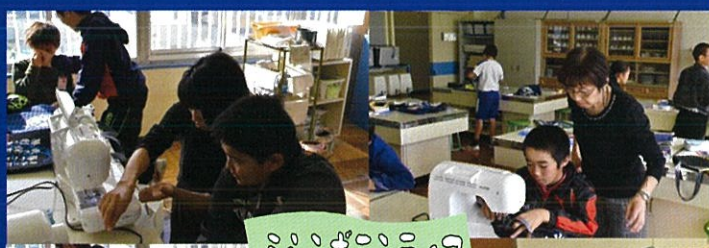
○：問題は多忙だけではない。全く未知の競技の部顧問でも担当せざるを得ない状況を放置しておいて、問題が起こるとその責任を問う。これは社会正義とは言い難い。教師の善意や義務感に依存して改善を怠ったので、制度が現実と整合しなくなっているのだ。

○：生徒数の減少に伴う問題もある。メンバーが多く必要な競技は、部員不足でチームを組めない学校が増えている。苦肉の策で、隣の学校と一緒に活動することや、合同チームの参加を認める大会なども見られるようになった。しかし、都市部を除けば各学校は遠く離れている。交通手段も乏しく、事故も心配だ。生徒指導などの責任の所在にも問題がある。これも、学校間の善意による協力や教師の職業意識に頼るには限界がある。

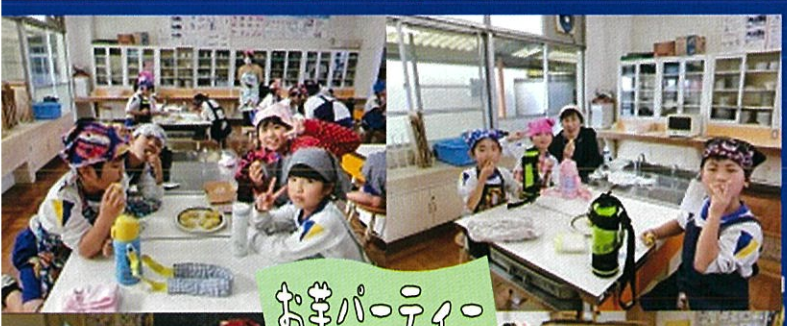
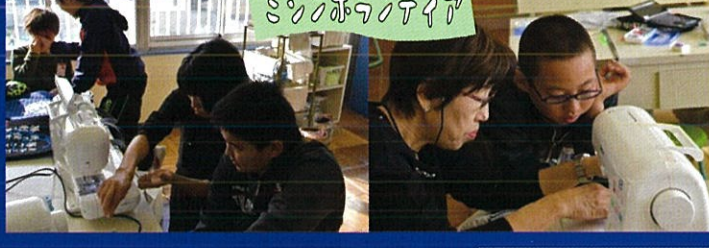
○：他方、地域社会でチームをつくり、指導育成するケースが増えている。施設の整備も進み、野球ができるのは学校の運動場だけだった時代ではない。日本の教育論は学校教育に偏り、社会や家庭の役割についての議論を避けてきた。スポーツは学校で行うものだという固定観念も、その遺産の一つだろう。

○：普遍化され概念化された言葉による議論をしれば見受けられる。これは無益というより有害である。部活動についても、学校や社会の多様な現状に立った、具体的に建設的な議論が必要な時期だと思う。

### ダンボールでお城を作ろう



### シンポジウム



### お芋パーティー



### お餅つき







# 大浜学園だより

平成31年2月号



大浜中学校区子ども育成支援協議会(大浜学園)の方針

子どもたちの成長を支援 保護者の子育てを応援 先生方の負担を軽減

問い合わせ先: oohamagakuen@gmail.com

## 学校の活動も地域の皆さんに見守られて

今回のタイトルも「地域の皆さんに見守られて」です。前は、「子ども教室が」でしたが、今回は、「学校の活動が」です。本当に大浜学園の活動だけでなく、大浜中学校区の保幼小中学校の教育活動は、地域の皆さんに見守られ、協力を得ながら成り立っています。今後とも、温かい眼差しと、支援をよろしく願いいたします。



永福寺さんでの座禅体験



10月19日(金) さつまいも掘り



東部の藤原八重子さんの畑でさつまいもの収穫体験



出野菓子店さんでお買い物体験

### 千浜幼稚園



『おがぼうし』の皆さんによる  
読み聞かせ



「よいしょ〜、よいしょ〜」のかけ声と共におもちつき



12月13日(木) しめ飾り作り



10月23日(火) 三浜ふれあいサロン

### 大坂・陸浜幼稚園



12月5日(水) もちつき会



10月23日(火) 三浜ふれあいサロン



10月23日(火) 三浜ふれあいサロン



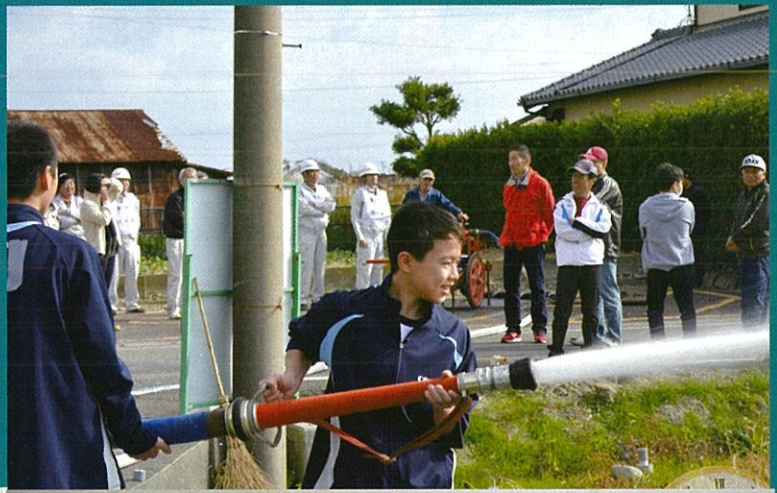
12月13日(木) しめ飾り作り



# 平日の昼 大浜中生は防災の要です

本号では、学校の教育活動は、「地域の皆さんに見守られている」ということをテーマとしています。確かに、地域の皆さんの協力を得ながら生徒の皆さんは、震災等に備えて、意欲的に取り組んでくれています。

ところが、いざ震災が平日の昼間起これば、大人はもちろん高校生も地元にはいません。家が倒壊した、けが人が出て避難地に運ばなければならない、となった時、戦力となるのは大浜中学校の生徒の皆さんです。地域の私たちと大浜中生と連携し、非常時に備える準備をする必要があります。



## 内外教育

第6441号

### ラウンジ

#### 学校の守備範囲

○：大阪で、まだあけない中学1年の男女が無残に殺された事件は、被害者の苦しみや恐怖を想像するとあまりにも痛ましい。犯人の冷血を許すことはできない。

○：一方で、そんな子供がどうして夜中に外をほつつき歩いていたらのか、親は注意しないのか、といった疑問も当然に湧いてくる。

○：犯人は学校とは関係なさそうだし、夏休み中であつたため、さすがに学校の責任という声は聞かないが、これが学期中なら生徒指導が不十分とか何とか言われたことだろう。

○：実際、今の学校は、下校後や長期休業中の過ごし方まで子供に指導するという、到底不可能なことを負わされている。そんな学校で管理できるわけがないのに。日本の教育には現実離れたフィクションが幾つもあるが、これもその一つ。

○：しかし、世間はそれを当然のように思っている。放課後や休日に生徒が起こした問題で学校に連絡が入り、教職員が駆り出されるのは日常茶飯事。私も校長時代、「教員が来るまで生徒を帰さない」と言われたことが何度もある。本当は親の仕事だろうに。

○：もしも文部科学省が本気で「教員の負担軽減」を考えているのなら、この際、生徒指導について「どこまでが学校の守備範囲か」をはっきりさせた方がいい。

○：基本的には「生徒が登校してから下校するまで」、つまり「生徒が学校にいる間」が、学校が責任を持って生徒を見るべき守備範囲だろう。もちろん校外での活動や、生徒が学校から飛び出したような場合は例外だ。

○：「通学中の事故も災害給付の対象になるから、通学中も学校の責任範囲ではないか」と思う人がいるかもしれないが、それはなるべく広く補償を受けられるようにしようという制度だからであつて、学校の守備範囲とは別である。

○：部活動の指導や地域行事への協力なども同様だが、「やればやるほど喜ばれるに決まっている」ことでも、本来、学校や教員の責任はここまで、という線引きは必要だ。それがないから、一生懸命な教員や学校ほど、サービス残業のように仕事が増え、多忙化することになる。

○：教育再生実行会議の有識者委員であつた小説家の曾野綾子氏は、第2回会議で、教育は小学校5、6年からは大人の責任が2分の1、家庭が4分の1、学校・教師と社会が8分の1ずつという趣旨の話がされている。

○：言い古されたことだが、「自己責任」や「家庭の責任」をもっと強調しない限り、いつまでも「人のせい」にする癖の抜けない、幼稚な風潮は変わらないのではないかと。(A)

2015年(平成27年) 9月1日 内外教育 第3種郵便物認可

「大坂こども園」につきましては、4月号で地域の皆さんの支援の様子や、新しくなった園舎について紹介いたします。